



(写)

交企秘第87号

令和6年12月2日

大阪府都市整備部交通戦略室

室長 松本 次朗 様

交野市長 山本 景



北陸新幹線事業に伴う意見聴取に係る申し入れ

リニア中央新幹線に係るトンネル工事の影響により、生活用井戸等の水位低下が生じております。そのため、水道水源の約8割が地下水である本市は、北陸新幹線事業により、水道水源である地下水の枯渇や減水が本市にて生じる可能性を深く憂慮しています。地下水の枯渇や減水が生じれば、約7万7000人の本市の市民生活が立ち行かなくなります。そのため、本市は、これまで二度にわたり、事業主体である独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構に対し、嘆願書を提出しております。嘆願書の提出を受け、本市は、同機構と地下水影響調査のうち、実地調査の実施に向けた協議を進めているところです。

そのような中、去る令和6年11月20日に与党整備新幹線建設推進プロジェクトチーム北陸新幹線敦賀・新大阪間整備委員会（以下、与党PTという。）が開催され、京都駅の位置をめぐる3つのルート案について、沿線の福井県、京都府、大阪府、京都市、そして営業主となるJR西日本から意見を聞くこと、また、12月中旬にも与党PTとして詳細ルートを正式決定することが報道されました。

本市としましては、実地調査の実施により、本市の憂慮が解消される前に、一方的に詳細ルートが決定されることに強い懸念を抱いております。

については、与党PTによる大阪府への意見聴取の際には、広域自治体の責務として、沿線市である本市の意見を確実に伝えるよう申し入れます。